

子どもアドボカシーセンターみやぎ 檀崎さんに聞く

子の権利認識広めたい



子どもの権利の一覧表を広げて意見表明権の説明をする檀崎さん
2月27日、仙台市宮城野区

子どもの権利を守る子どもアドボカシーは宮城県で始まって間もない取り組みです。子どもの声を大切にするにはどうしたらよいのでしょうか。一般社団法人「子どもアドボカシーセンターみやぎ」(仙台市)代表理事の檀崎たつみさん(61)に話を聞いてみました。

「1面に関連記事」
「なぜ子どもアドボカシーを始めたのですか。」
「2015、22年に宮城県内の中学校で相談員をした際、生徒の声が大

切に扱われていないと感じたのがきっかけです」
「先生方に相談内容を伝えても丁寧に扱われな

い。大人側が勝手に解決してしまふ。そんな場面があり、生徒が自分の考えを言うことに消極的になってしまふのではないかと心配になりました」
「東京で子どもアドボカイト養成講座を受講したそうですね。」
「19年に初めて参加しました。子どもの権利については西日本の方が意

だんざき・たつみ 宮城県多賀城市出身。常盤木学園高卒。中学校の相談員を経て2022年に一般社団法人子どもアドボカシーセンターみやぎを設立。子どもアドボカシー学会(堺市)の理事も務める。

識が高く、講師の方に『東北からの参加者は初めて』と言われ、衝撃を受けました」
「子どもと接するとき心がけていることはありますか?」
「まず信頼関係を築く必要があります。絵本や塗り絵、カードゲームなどを持参し、それをきっかけに会話を始めること

かほピョンプレス読者のみなさんへ

次はニュース検定に挑戦!

ニュース時事能力検定試験 検NEWS

4級問題に挑戦! (2025年度検定問題より出題)
「やさしい日本語」とは、日本で暮らす外国人などにも分かるようにした、簡単な日本語のことです。やさしい日本語にするための工夫の例に当てはまるものを選びなさい。
①漢字をたくさん使う。 ②カタカナの外来語をたくさん使う。
③一つ一つの文章を長くする。 ④伝えたいポイントを絞る。
答え...④

5級問題に挑戦! (2025年度検定問題より出題)
SNS(交流サイト)の特徴の例に当てはまるものを選びなさい。
①SNSを使うことで、現実の犯罪に巻き込まれることはない。
②発信した情報を、自分の知らない人に見られることは決していない。
③SNS上に載っている情報は、そのまま信じていることができる。
④いったん広がった情報は、完全に消すことが難しい。
答え...④

もっと詳しく知りたい方には 基礎編(3・4級対応)

2026年度 5級
ニュース検定 入門編
公式テキスト&問題集 「時事力」入門編(5級対応)
をもとに出題されます!

2026年度 第1回
6月21日(日)
マークシート方式

仙台会場
フォレスト仙台
仙台市青葉区柏木1-2-45

申込締め切り日
公式サイトから5月12日(火)

お問い合わせは... 受検サポートセンター TEL:03-5209-0553
受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日は除く)

検定のお申し込みは公式サイトから
ニュース検定 検索

【主催】河北新報社、日本ニュース時事能力検定協会、毎日教育総合研究所 など